

寺尾南地区社会福祉協議会

おたすけ

平成29年10月吉日（第26号）
発行 寺尾南地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 中山恵之
編集 総務部会



住み良いまちづくり、住んで良かったまちづくり

みなさんの参加で活動を進めましょう。

●綾瀬市社会福祉協議会のホームページに当地区社協の活動状況が掲載されていますのでご覧下さい →→→ <http://www.ayase-shakyo.or.jp/>

寺尾南地区社協 会長 中山恵之

介護保険制度改正により要支援者の支援活動強化及びサロン「なごみ」開所日を増やし当該者の受入れ体制を整えることである。これらの実現には、ボランティア要員確保が今後の大きな課題となる。また、障がい児童登校支援活動を平成29年度より実施したが、現状、週1日の支援活動であり、ご家族の負担軽減を考慮し、支援日数を増やす方向での検討が必要です。しかし、地区社協独自の活動では、困難であり、地域と連携、この活動を推進して行きたい。

更に現在、取組み中の要支援者の生活支援活動の支援有料化移行に向け、既に2年にわたり試行してきましたが、平成30年移行を目指し推進して行きます。

第11回定期総会開催

- ・平成29年5月14日（日）寺尾南自治会館に於いて開催
- ・4議案を提示、採決の結果、満場一致で原案通り可決承認されました。

お忙しい中、古塩市長、甘利衆議院議員他、多くの来賓者が列席され、盛大な定期総会となりました。



岩手民話口話開催

・29年5月22日（月）午前10時よりサロン「なごみ」で開催

・参加者 24名

・語りべ・南館美達 様

○南館さんの語りべは・・・

語りで大事にすることは、聴
いである人との掛け合いだ、
響ぐ話すっこすでな。

岩手弁で約1時間の口演であ
った。

参加者は、話に引き込まれ、
楽しい一時を過ごしました。



語りべ、南館さんの熱弁

障がい児童登校支援活動に挑戦

障がい児童登校支援要請を市社協から受け、活動実施に向け海老名支援学校との調整
また、ご家族の支援にたいする配慮、当該者は、脳障害による発作の恐れがある事か
ら、学校、お家族との検討、ボランティア要員確保等で約2年を要しました。

更に活動実施向け、寺尾南パトロール隊にも協力要請、平成29年5月、登校支援
活動を実施致しました。

現在、登校支援活動は、週1回の支援に留まっております。ご家族の負担軽減を図る
には、更に支援日数を増やすためのボランティア要員確保が必要ですが、地区社協
単独での活動では、限界であり地域一丸での活動が望まれる。支援に賛同される方、
地区社協へご一報ください。

この活動は、社協あやせ137号トップページ（6月発行）に紹介されました。

障がい児童登校支援活動



えびな支援学校のスクールバス
に車椅子のまま車内へ

当該者宅からスポーツセンター間を搬送
する（約800m）15分を要している。



子育てサロン開催

○開催月日：平成29年7月7日 ○場所：寺尾南自治会館

○参加者； 5家族 13名

○テーマ： プール遊びと七夕短冊作り。



会館玄関先に七夕飾り
思いを込めて短冊を吊るす。



プールに風船を浮かべ遊びました

高齢者向けふれあいサロン開催

・開催日時：29年8月22日 11時より

・場所：寺尾南自治会館

・参加者：54名

・食事会：冷やし中華と手作り餃子、デザートを添えた食事会。

・余興：岩手民話口演 語りべ：南館美達様。

当地区社協では、岩手民話口演、今年5月サロン「なごみ」で講師に南館様を招き岩手民話口演を開催、大変好評でしたので、再度、ふれあいサロンで実施した。聴いてる人との掛け合いだと熱弁される講師の南館さん。



おいしく食べて元気アップ講座

開催日時：平成29年9月29日 午前10時より。

場所：サロン「なごみ」

- 講座内容 1. 低栄養になっていませんか？・・・講師：管理栄養士・・・浜脇様
2. 知っておきたいお口の健口・・・〃：歯科衛生士・・・渡辺様

参加者：26名



参加者の平均年齢が80才近い方々であり、両講師共高齢者に配慮した、わかりやすい講演であり、これからの食生活の一助になると思われます。

高齢者向け講座

1. 開催日時：29年8月29日10時より。
2. 場所：寺尾南自治会館
3. 講師：綾瀬市社会福祉協議会 千葉 真佐子様
4. 参加者：45名

介護保険制度が変わって私の生活は何がかわるの、また、高齢者が地域で安心して生活をするために、地域の社会資源を活かし、どのよいに生活をデザインしていくのか等について、講演された。

地域福祉に積極的に参加を

- 地区社協が行う事業への参加
- 綾瀬市が行う事業への参加
- 地域包括支援センターが行う事業への参加。
- 生活支援体制整備事業への参加

